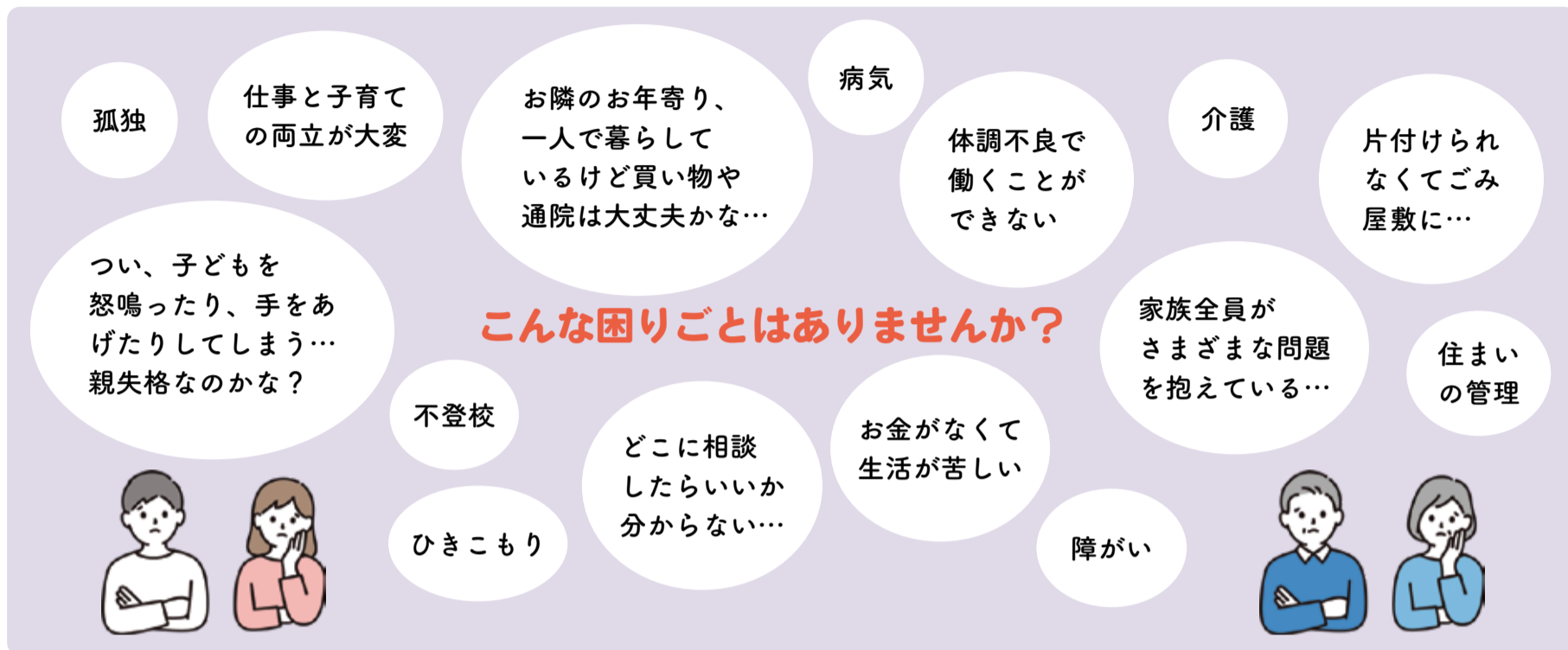


抱えている困りごとや悩みごと まるごとよりそいネットワークもりおかに 相談してみませんか？

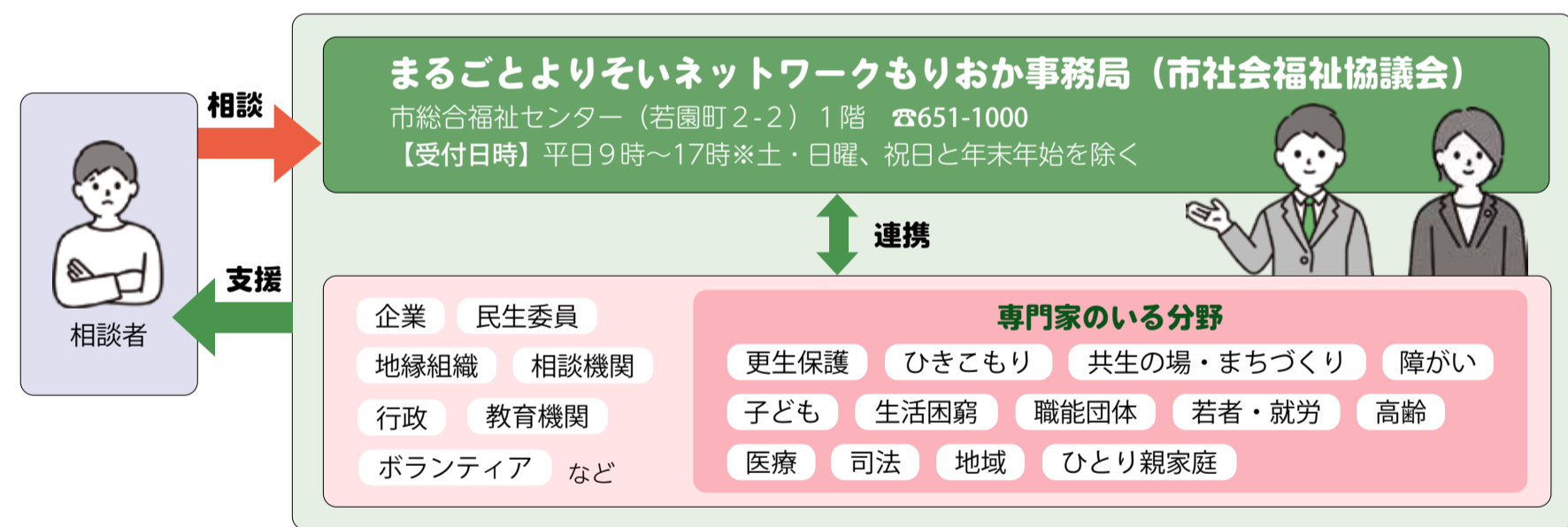
地域には、困りごとや悩みごとがあっても打ち明けることができず抱え込んでいる人などいます。困りごとや悩みごとを専門機関につないで解決のお手伝いをする「まるごとよりそいネットワークもりおか」（まるネット）について紹介します。
【担当】地域福祉課 ☎626-7509



困りごとが深刻化する前に早めの相談を！

「まるネット」は福祉に関する相談をワンストップで受け止め、市社会福祉協議会が中心となり、13分野の専門機関などと連携して、必要な支援をコーディネートしています。自分で抱えている困りごとだけでなく、周囲で悩んでいる

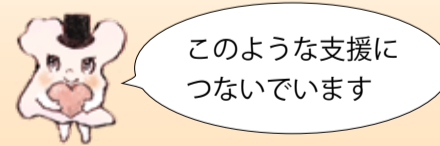
人についても相談することができます。本人や家族、周りの人だけで解決することが難しい場合は、お気軽に「まるネット」にご相談ください。困りごとの問題点を整理し、解決に向けたお手伝いをします。



困りごとを整理して支援につないでいます

個別の相談に応じて、一人一人に寄り添った支援をコーディネートします！

- 福祉サービスの利用
- 家庭以外の居場所への参加
- 社会復帰に向けた中間的就労
- 住まいの片付けのお手伝い
- 金銭管理の仕方の見直し
- 訪問による相談対応
- 登下校時の見守り
- 医療機関の受診
- 生活保護 など



【相談例】親（要介護）、子（無職）、孫（ひきこもり）のケース

上記のような3世代世帯の生活困窮の相談の場合、①親の施設入所、②子の就労支援、③孫の社会復帰に向けた居場所への参加支援、生活保護の申請を支援することなどが考えられます。

市は、「重層的支援体制整備事業※」を実施しています。「まるネット」は、同事業による取り組みであり、市社会福祉協議会へ委託し実施しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。
※市全体の支援機関や地域の関係者が困りごとをワンストップで受け止め、一体的に支援し、包括的な支援体制を整備する事業



盛岡城のいろは 第二回

盛岡城や盛岡藩にまつわる文献は今も多数残されており、市で行っている調査でも、書状や記録などの各種文書が確認されています。このような史料の中には、献上品や他藩からの贈り物などに関する記述が多々あり、そこからは、往時の「贈り物」事情を垣間見ることが出来ます。【問】盛岡城復元調査推進室 ☎613-7956



盛岡城の「贈り物」事情

盛岡城は、政務の中心であるとともに、藩主の居城としての機能も持ち、藩主のもとには、日々さまざまな贈り物が届けられました。盛岡藩の政務を取り仕切ってきた家老たちが、約200年もの間記録し続けた「雑書」という史料にも、藩主がやり取りしていたありとあらゆる贈り物がつづられています。

品目は食材が多く、サケ・数の子・アワビなどの海産物や、片栗粉やミカンのような各地の特産品のほか、鶴・白鳥・ヒシクイ（池や川などで見かけるカモ科の鳥）などの鳥類も食材として扱われていました。



贈り物に「虎」？

数々の贈り物の中でも珍しいのが、徳川家康からの二匹の虎です。盛岡城に関連する文献の一つである「祐清私記」という書物には、盛岡藩の二代藩主南部利直が、駿府で家康に謁見し、狩りのお供などをした際に虎二匹を賜ったという内容が記されています。このエピソードは複数の文献にも記録があり、右図のような史料でも盛岡城内に「虎屋敷跡」とされる場所が確認できます。「贈り物」という事柄一つにも、藩の特産物や食生活、幕府や各藩との関係など、実は多くの情報が隠されています。情報の宝庫である史料は、盛岡城を紐解くためのヒントが詰まった先人からの贈り物といえるかもしれません。

国統大年譜（もりおか歴史文化館収蔵）※丸印部分が虎屋敷跡とされる場所（盛岡城跡公園内彦御蔵付近）▶



全国藩校サミットが盛岡にやってくる！

今年11月、全国藩校サミット盛岡大会が開催されます。「藩校ってなに?」「盛岡にはどんな藩校があったの?」といった疑問に答えながら、イベントの概要を紹介します。【問】企画調整課 ☎626-7534 【広報ID】1047983



「藩校」とは

藩校は、江戸時代の各藩に設けられた藩士の子どもを教育するための学校で、有名な藩校には、「ならぬことはならぬものです」で知られる会津藩校日新館（福島県）や、幕末の志士たちが学んだ長州藩校明倫館（山口県）、江戸時代の総合大学ともいべき水戸藩校弘道館（茨城県）などがあります。

藩校は、多くの優れた人材を輩出し、各地域のまちづくりや近代日本の国づくりに貢献してきました。

「盛岡藩校作人館」について

盛岡藩では、1840年にそれまでの武芸稽古場を「明義堂」と命名し、初めて藩校として整備しました。その後、1865年に「作人館」に改称し、1872年の廃止までの間に、後に首相となる原敬、岩手県初の文化勲章受章者で物理学の田中館愛橘、北海道大初代総長となる佐藤昌介といった多くの先人を輩出しています。

作人館跡は、学制公布により現在の仁王小となりました。仁王小の「仁王歴史館」には、現在もその扁額※などが大切に保管され、藩校時代の精神と歴史を伝えています。

※門戸・室内などにかける細長い額

作人館の扁額▶



▲作人館跡に整備された日影門緑地（中央通一）



▲作人館に飾られた孔子像（盛岡聖堂（東中野）収蔵）

「全国藩校サミット」とは

全国藩校サミットは、将軍家や全国の旧大名（藩主）の当主が一堂に会し、藩校の教育・精神を再認識して現代に生かすことを目的として、全国持ち回りで毎年開催されています。

前回大会（東京都文京区）の様子▶



「盛岡大会」の概要

【日時】11月23日(出)13時半開演(開場12時45分)
【場所】市民文化ホール大ホール(盛岡駅西通二)
【内容】●歴史コメンテーターの釜谷俊一郎氏による記念講演
●仁王小児童による発表
●旧藩主によるトークセッション、出席藩主紹介（ほか）

大会の趣旨に賛同し、協賛していただける人を募集しています。詳しくはこちら▶

今年開催する企画展などの藩校サミット関連イベント

場所	イベント名	日時	料金	問い合わせ
もりおか歴史文化館（内丸）	テーマ展「藩校助教 藤井又蔵の足跡」	9月18日(休)～12月16日(月)	入館料が必要	☎681-2100
原敬記念館（本宮四）	企画展「原敬と盛岡藩校・作人館」	9月8日(日)まで	入館料が必要	
	学芸員講座「原敬と作人館の同窓たち」★	8月25日(日)13時半～15時	無料	☎636-1192
	ギャラリートーク☆	8月25日(日)15時15分～16時、9月8日(日)13時半～14時15分	入館料が必要	

★定員15人。要事前申し込み。8月11日(日)10時から電話で受け付け
☆定員15人。要事前申し込み。各回2週間前の10時から電話で受け付け

お殿様に質問してみませんか？

全国藩校サミット盛岡大会に参加する将軍家や全国の旧大名（藩主）の当主へ、「好きな歴史上の人物は?」など聞いてみたいことを募集します。たくさんの応募をお待ちしています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

